

令和 8 年第 2 回 区づくり推進横浜市会議員会議 次第

日 時 令和 8 年 6 月 11 日（木）
15 時 00 分から

場 所 旭区役所新館 2 階大会議室

1 座長挨拶

2 区長挨拶

3 幹部職員の紹介

4 議題

- ・ 令和 8 年度 旭区個性ある区づくり推進費の執行計画について ……資料 1
【副区長】

5 報告

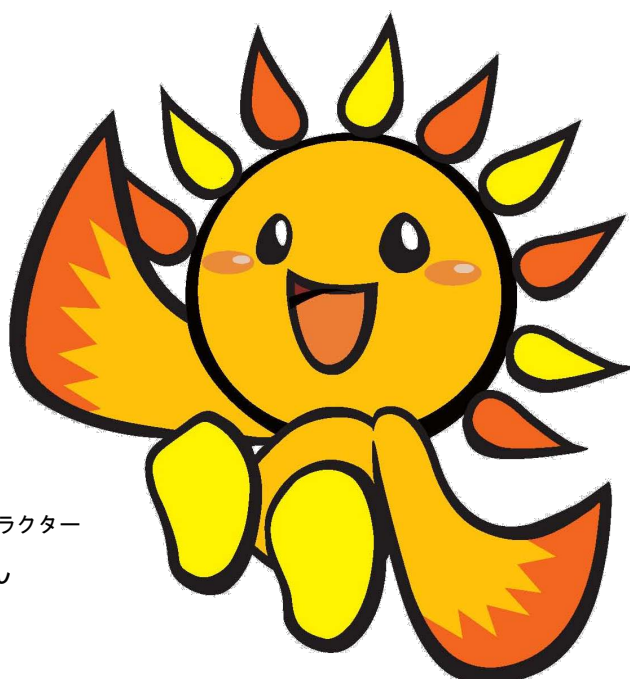
- ・ 寄附受納について ……資料 2

6 その他

令和 8 年 第 2 回

区づくり推進横浜市会議員会議資料

令和 8 年度 執行計画



旭区マスコットキャラクター
あさひくん

もっとつながり、育てる“あさひ”の未来
～GREEN×EXPO 2027 開催地元区として～

令和 8 年 6 月 11 日

旭 区



公式マスコットキャラクター トゥンクトゥンク

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027



目 次

令和8年度 旭区個性ある区づくり推進費予算概要	3
-------------------------	---

自主企画事業費

I 安心・安全

1 災害に強い区づくり事業	6
2 地域安全安心普及推進事業	7
3 街の美化運動事業	8
4 子どもと家庭の安心支援事業	9
5 安全で安心な食と生活環境支援事業	10

II 暮らし・コミュニティ・地域の力

1 あさひのつながり応援・発信事業	11
2 自治会町内会等の地域活動支援事業	12
3 旭ふれあい区民まつり	13
4 区民スポーツ事業	13
5 文化芸術による心の豊かさ推進事業	14
6 青少年健全育成事業	15
7 子育て・若者支援事業	16
8 保育所地域子育て支援事業	18
9 地域福祉保健計画事業	19
10 地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業	20
11 健康生活支援事業	21
12 認知症をみんなでささえるまちづくり事業	22
13 高齢者生きがいつくり支援事業	23
14 障害理解推進・社会参加促進事業	24

III GREEN×EXPO 2027 を契機とした魅力あるまちづくり

1 あさひ魅力発見事業	25
2 GREEN×EXPO 2027 参加促進事業	26
3 旭区広報事業	28

IV 区民サービスの向上

1 区役所満足度向上事業	29
--------------	----

統合事務事業費

V 統合事業費

	30
--	----

参考資料

旭区に係る予算のすがた（令和8年度一般会計予算）	31
--------------------------	----

令和8年度 旭区個性ある区づくり推進費予算 総括表

(単位：千円)

区 分	令和8年度 予算	令和7年度 予算	増▲減	増▲減率
個性ある区づくり推進費	919,827	895,138	24,689	2.8%
自主企画事業費	102,600	102,686	▲ 86	▲ 0.1%
統合事務事業費	51,144	51,387	▲ 243	▲ 0.5%
統合事務費	27,657	27,156	501	1.8%
統合事業費 (各種委員の任命・委嘱に関する 経費など)	23,487	24,231	▲ 744	▲ 3.1%
区庁舎・区民利用施設管理費	766,083	741,065	25,018	3.4%

(1) 自主企画事業費（個性ある区づくり推進費）

地域の身近な課題やニーズに迅速かつ、きめ細やかに対応するための事業費で、区が独自に企画し、区自らが執行する事業費です。

(2) 統合事務事業費（個性ある区づくり推進費）

各課の運営に係る事務費（統合事務費）と、各種委員の任命・委嘱などに関する経費（統合事業費）（自主企画事業費から分離された事業）です。

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費（個性ある区づくり推進費）

事業別一覧表

(単位：千円)

事業名		8 年度予算	7 年度予算	増▲減	課 名	
自 主 企 画 事 業	Ⅰ 安全・安心					
	1	災害に強い区づくり事業	12,383	12,362	21	総務課 福祉保健課 生活衛生課 高齢・障害支援課
	2	地域安全安心普及推進事業	9,744	9,760	▲ 16	地域振興課
	3	街の美化運動事業	1,238	428	810	地域振興課 旭土木事務所
	4	子どもと家庭の安心支援事業	7,099	6,439	660	こども家庭支援課
	5	安全で安心な食と生活環境支援事業	1,151	1,150	1	生活衛生課
	Ⅱ 暮らし・コミュニティ・地域の力					
	1	あさひのつながり応援・発信事業	9,816	6,924	2,892	区政推進課 地域振興課 福祉保健課
	2	自治会町内会等の地域活動支援事業	4,383	4,586	▲ 203	地域振興課
	3	旭ふれあい区民まつり	3,300	3,300	0	地域振興課
	4	区民スポーツ事業	3,028	3,026	2	地域振興課
	5	文化芸術による心の豊かさ推進事業	6,635	6,351	284	地域振興課
	6	青少年健全育成事業	588	590	▲ 2	地域振興課
	7	子育て・若者支援事業	5,584	5,084	500	こども家庭支援課
	8	保育所地域子育て支援事業	1,772	2,728	▲ 956	こども家庭支援課
	9	地域福祉保健計画事業	2,007	7,478	▲ 5,471	福祉保健課
	10	地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業	3,386	3,638	▲ 252	福祉保健課
	11	健康生活支援事業	2,935	2,604	331	福祉保健課
	12	認知症をみんなでささえるまちづくり事業	1,114	454	660	高齢・障害支援課
	13	高齢者生きがいづくり支援事業	418	568	▲ 150	高齢・障害支援課
	14	障害理解推進・社会参加促進事業	710	667	43	高齢・障害支援課
	Ⅲ GREEN×EXPO 2027を契機とした魅力あるまちづくり					
	1	あさひ魅力発見事業	3,655	3,471	184	地域振興課
	2	GREEN×EXPO 2027参加促進事業	9,685	9,583	102	区政推進課 地域振興課 こども家庭支援課
	3	旭区広報事業	3,395	3,357	38	区政推進課
	Ⅳ 区民サービスの向上					
	1	区役所満足度向上事業	8,574	8,138	436	総務課
	合 計		102,600	102,686	▲ 86	

(単位：千円)

事業名			8年度予算	7年度予算	増▲減	課 名
V 統合事務事業費	統合事務費		27,657	27,156	501	総務課
	統合 事業 費	1 広報よこはま あさひ区版発行事業	10,189	10,750	▲ 561	区政推進課
		2 広聴・相談事業	2,283	2,383	▲ 100	区政推進課
		3 クリーンタウン横浜事業	1,510	1,510	0	地域振興課
		4 緊急時情報システム運用事業	907	907	0	総務課
		5 スポーツ推進委員支援費	2,278	4,191	▲ 1,913	地域振興課
		6 青少年指導員事業	4,500	2,500	2,000	地域振興課
		7 学校・家庭・地域連携事業	1,610	1,810	▲ 200	こども家庭支援課
		8 健康づくり月間	210	180	30	福祉保健課
	合 計		51,144	51,387	▲ 243	

事業名	8年度予算	7年度予算	増▲減	課 名
区庁舎・区民利用施設管理費	766,083	741,065	25,018	総務課 地域振興課 戸籍課 土木事務所

I 安心・安全

新・・・新規事業

拡・・・拡充事業

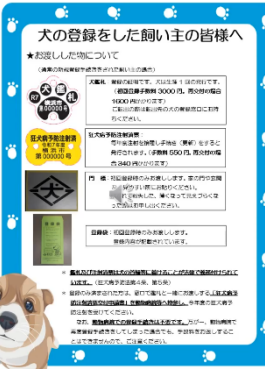
DX・・・デジタル技術を活用して事業転換を行った事業

I - 1		事業内容	
災害に強い区づくり事業		地域防災関係諸団体の自主防災力の向上及び区役所の災害対応力の向上を目的に、防災活動団体への各種支援、区が独自に発信する情報受伝達の円滑、迅速な体制維持及び区民の防災意識の向上を図ります。	
令和8年度	12,383千円	1 拡 防災活動事業【10,142千円】 (1) 区内19連合町内会が行う防災啓発活動への積極的支援（今宿、旭南部連合：6月、その他連合：7月以降） (2) 地域防災拠点訓練の支援及び地域防災拠点間の相互連携強化と取組の共有化に向けた拠点合同研修の実施（11～12月） (3) 自治会町内会等向けの共助に係る防災講座 ・集合講座（第1回目：6月、第2回目：9月、出前講座：9～2月） ・7月区連会で周知予定 (4) 自助・共助の意識醸成と地域防災力の強化を目的とした、発信内容の充実や構成見直し等のHPリニューアル等による情報発信の強化（2月） (5) 各種団体等のイベント等への参加などによる積極的な防災啓発（通年） 2 災害ボランティア連絡会補助事業【150千円】 (1) 災害ボランティア連絡会への補助金交付等による活動支援（通年） 3 帷子川改修予定区間カメラ管理事業【810千円】 (1) 河川改修途中の帷子川流域設置のWEB監視カメラ（1か所）の維持管理（設置箇所：帷子川・大栗橋付近） 4 災害時医療事業【495千円】 (1) 医療救護隊巡回診療用資器材の更新・整備 (2) 災害医療連絡会議の開催（年1回 団体との調整により日程を決定） (3) 通信訓練（年6回 4月、6月、8月、10月、12月、2月） (4) 医療機関等が災害時に診療・開局可能かを示す「のぼり旗」の掲出訓練実施（年1回 10月） 5 拡 福祉避難所開設・運営支援事業【566千円】 (1) 福祉避難所連絡会開催（区内70施設 年2回開催） (2) 自己チェック表による平常時の準備状況の点検（年1回） (3) 初動対応訓練（9月）及び開設・運営訓練（10～12月）の実施 (4) 福祉避難所の災害対応力向上にむけたコーディネーター派遣（マニュアル作成支援や訓練内容検討など 通年6回） (5) 災害対応力向上に役立つ福祉避難所開設・運営に係る説明動画の制作・活用（～12月） 6 災害時のペット対策啓発事業【220千円】 (1) 飼い主に対する広報、イベント等を活用した周知、啓発（通年） (2) 地域防災拠点に対するペット受入態勢の啓発及び訓練等の支援（通年） <地域防災力向上事業「町の防災組織」活動費補助金（総務局）> 自治会・町内会等により組織されている「町の防災組織」が行う自主防災活動の経費の一部として補助金を交付 <災害時要援護者支援事業（健康福祉局）> 災害時要援護者名簿の作成や、支援方法等に関する周知・啓発	
令和7年度	12,362千円		
増△減	21千円		
総務課、福祉保健課 生活衛生課 高齢・障害支援課			
 共助をテーマにした 防災講座			
 福祉避難所への コーディネーター派遣			
 ペット用備蓄品の展示 による飼い主向け啓発			
事業指標		防災訓練・講習会等の実施回数	訓練等に参加したことがある方の割合
		86件	70%

I-2		事業内容	
地域安全安心普及推進事業		自治会町内会や警察などの関係機関と連携し、安全・安心なまちづくりを推進します。区民の防犯・交通安全意識の啓発・向上を図ります。	
令和8年度	9,744千円	1 地域防犯推進事業【2,561千円】 (1) 地域の防災、防犯、交通安全、美化・リサイクル活動の功労者と小学生交通安全ポスターコンクール入賞者を対象とした「あさひ安全安心表彰式」の開催（9月） (2) 地域防犯力を高めて犯罪等の発生を抑止するため、定期的に継続して自主防犯活動を実施する自治会町内会を対象とした「旭区まちぐるみ地域防犯推進事業助成金」交付による地域活動支援（通年） (3) 特殊詐欺被害を抑止するため、旭警察署と連携して、区内在住の65歳以上の方に、迷惑電話防止機能を有する機器を貸与（通年） 2 こども安全安心事業【870千円】 (1) こども110番の家実行委員会への補助金交付による活動支援 (2) 区内小学校の新入学児童へ防犯ブザー配布（約2,100個） 3 地域交通安全対策【451千円】 (1) 中高生を対象としたスケアードストレイト方式による交通安全教室の実施（2回／年） (2) 交通安全シルバーリーダーを対象とした研修会等の実施（5月29日、8月27日、11月27日） (3) 交通安全キャンペーンへの参加（年4回） 4 拡 スクールゾーン対策【5,576千円】 (1) 旭区スクールゾーン対策協議会からの路面表示の新設・更新等の要望対応 (2) 旭区スクールゾーン対策協議会助成金交付による地域活動支援（通年）（区内小学校24校に2万円ずつ助成金交付） (3) 区内小学校の新入学児童へランドセルカバー配付（約2,100枚） 5 違法駐車追放等対策【286千円】 (1) 違法駐車追放等地区協議会への補助金交付による地域活動支援（通年）（区内6団体へ補助金交付）	
令和7年度	9,760千円		
増△減	△16千円		
地域振興課			
 ランドセルカバー  スケアードストレイト方式による交通安全教室			
事業指標	協議会の要望に対する スクールゾーンの対応割合	振り込め詐欺対策支援満足度	
	95%	95%	

I-3		事業内容	
街の美化運動事業		区民・事業者・行政が協働して、地域清掃活動や不法投棄防止対策を実施し、清潔できれいな街づくりを推進します。	
令和8年度	1,238千円		
令和7年度	428千円		
増△減	810千円		
地域振興課 旭土木事務所		1 街の美化清掃【117千円】 (1) 地元町内会・商店街と区役所職員との協働による鶴ヶ峰駅周辺の清掃（毎月第4金曜日（7月・8月を除く）、10回） (2) 街の美化推進功労者表彰の実施（9月） （※「あさひ安全安心表彰式」と同時開催）	
 鶴ヶ峰駅周辺の清掃		2 拡 不法投棄防止対策【531千円】 (1) 不法投棄防止看板やポイ捨て・歩きたばこ防止シールの配布 (2) 委託業者による夜間パトロールの強化（12月～3月） (3) 警報装置の維持管理（通年）	
		3 新 あさひみらいサポーター事業【590千円】 (1) <u>新しいボランティア活動の担い手の参加促進と育成のため、道路・河川・公園の清掃活動を支える、清掃用具やベストの貸与によるスタートアップ支援（通年）</u> ・ <u>小・中学校長会への周知（5月）</u> ・ <u>【あさひみらいサポーター】ホームページ開設（5月）</u>	
事業指標		地域清掃の実施回数	区民意識調査ごみ対策に対する満足度
		10回	57.5%

I - 4		事業内容	
子どもと家庭の安心支援事業		児童虐待の未然防止や児童の健全な育ちを促すことを目的に、養育者へ動画等で親子が心地よく過ごすためのコツを伝えるとともに、保育所・幼稚園等へ臨床心理士を派遣し専門的助言を行います。さらに、DV 被害者の自立支援を目的として、弁護士や臨床心理士による相談を実施します。	
令和 8 年度	7, 099 千円	これらの取組により、虐待や暴力の連鎖を防ぎ、子どもと家庭の安心・安全な生活を包括的に支える基盤を構築します。	
令和 7 年度	6, 439 千円		
増△減	660 千円		
こども家庭支援課		1 【拡】 児童虐待予防事業【1, 124 千円】 養育者へ、幼児期からの子どもとのコミュニケーションやしつけについて、親子が心地よく過ごせることを目指した啓発 (1) <u>幼児期の関わり方をわかりやすくまとめた、「子育てのヒント」リーフレットを印刷し、乳幼児健診（1 歳 6 か月、3 歳）やイベントなどで配布（計 3 種：1 種 500 部、2 種各 250 部）するほか、リーフレットを動画化して SNS を中心に配信（11 月予定）</u> (2) 区内の保育園児等が描いた絵を用いて、児童虐待予防啓発グッズを作成し、区民まつり等のイベントを通じて啓発・配布（500 部） (3) 育児不安を抱える養育者を対象に、ヨガやグループミーティングを通して、不安の解消を図る教室「アンダンテ」を実施（年 12 回） (4) 乳児早期から養育者と子どもの絆形成を目的とした教室「ベビーマッサージ教室」を実施（年 8 回）	
 「子育てのヒント」 （動画化）  保育園児等の絵を用いた 児童虐待予防啓発カレンダー		2 【拡】 保育所等における養育支援強化事業【5, 194 千円】 臨床心理士による専門的助言を通じて、養育環境に課題を抱える児童の健全な育ちを促す支援 (1) 私立保育所・幼稚園に臨床心理士を派遣し、発達や発育に課題のある児童の保育の方法について、相談支援を実施（年 87 回） また、派遣する臨床心理士の質の向上を目的として、スーパーバイザーによる臨床心理士を対象とした研修を実施（年 1 回） (2) 家庭での養育環境に支援を必要とする要保護児童等について、保育所等の中で健全な育ちを促すことができるように、区役所において保育士等と臨床心理士が支援方針の検討を実施(年 36 回: 4 月～5 月 6 回実施) (3) 児童虐待の専門家による保育施設の保育士等を対象に研修を開催 (7 月、2 月予定)	
		3 DV 相談事業【781 千円】 (1) 離婚や親権、財産など法律的問題の解決に向け、女性弁護士による法律相談を実施（年 36 回：4～5 月 6 回実施） (2) DV による心的外傷ストレス（PTSD）等の心理的ケアのため、臨床心理士による個別カウンセリングを実施（年 36 回：4～5 月 6 回実施） <女性福祉相談事業（こども青少年局）> DV をはじめとする女性の抱える様々な問題に対し、会計年度任用職員（月額）の女性福祉相談員による女性福祉相談を実施	
事業指標		臨床心理士の派遣回数	臨床心理士派遣を利用した 保育所等の満足度
		87 回	100%

I-5	事業内容	
安全で安心な食と生活環境支援事業	安全で安心な生活環境づくりのため、飲食店や食事ボランティア等への衛生対策啓発の実施、飼い主のいない猫について TNR(T:捕獲、N:不妊去勢手術、R:元に戻す)活動等の推進、犬の飼い主へのマナー啓発を実施します。	
令和8年度		
令和7年度		
増△減		
生活衛生課	1 【拡】 食の安全・安心サポート事業【369千円】 (1) 配食ボランティア等への食中毒予防啓発として、調理担当者に向けた食の安全啓発動画の作成や出前講座を実施(通年) (2) 一般区民向けに感染症及び食中毒予防と手洗いの重要性を啓発(通年) (3) 窓口手続のDX化(書かない窓口)の推進(通年) <食品衛生監視等事業(医療局)> 市民の食の安全安心を確保するため、食品衛生法等の規定に基づき、食品関係営業者の自主衛生管理を推進するとともに施設への監視指導や食品の抜き取り検査等の実施 2 【拡】 飼い主のいない猫対策事業【358千円】 (1) 飼い主のいない猫の問題解決のために活動するボランティアの育成及び支援(通年) (2) 講習会の開催(10月) (3) TNR活動における説明用動画の活用(通年) 3 【拡】 動物適正飼育推進等啓発事業【387千円】 (1) 旭区わんわんパトロール(犬の飼い主マナー向上啓発及び地域防犯見守り活動ボランティア)の隊員募集(通年) (2) 隊員向け活動支援のための講習会の開催(6月) (3) 来庁者向け犬の登録の説明及びマナー啓発につながる動画の作成・活用(12月) 4 【ハチ】 ハチの駆除サポート事業【37千円】 (1) 高齢者等へのアシナガバチ駆除支援(4～12月) (2) ハチの駆除に関するウェブ相談受付・対応(通年)	
 わんわんパトロール 腕章・リード標  犬の登録 窓口用の説明動画 (音声読み上げ)	登録ボランティアによる TNR 支援頭数	飼い主のいない猫に関する 困り事の相談件数
	180 件	90 件以下 (R1 年相談件数 182 件より 50%減)

II 暮らし・コミュニティ・地域の力

Ⅱ-1		事業内容	
あさひのつながり応援・発信事業		区民をはじめ様々な主体が地域でのつながりや地域への愛着を深めること、地域活動に参画できることを目的として、地域人材支援、地域の魅力発信及び地域データ活用支援の取組を推進します。	
令和8年度	9,816千円	1 【拡】 市民活動センター（みなくる）事業【1,705千円】 (1) 市民活動・生涯学習に係る情報提供、相談、コーディネート（通年） ・地域活動に関する相談（通年）、専門相談（年6回程度） ・情報誌「みなくるだより」の発行（年6回程度） (2) 地域活動に参加・参画する区民を増やすことを目的とした講座の実施 ・まちの楽校（ミニ講座）（月1回）、きっかけづくり講座（7月～3月）、あさひみらい塾（担い手養成講座）（10月～12月） 2 あさひの魅力発信事業【2,000千円】 (1) 区ウェブページ等により区民ライターによる魅力発信を実施（通年） ・区民ライターへのフォローアップを実施（通年） ・区ウェブページ等で区民ライターの記事を公開（通年） (2) あさひ魅力発信サイトの認知度向上に向けたPRを実施（通年） 3 あさひのつながり応援補助金【515千円】 (1) 地域課題解決に向けて事業を立ち上げようとする地域活動団体の支援 補助上限額：5万円（補助率：10分の9）／交付見込事業数：8事業 4 【拡】 多様なパートナーと連携した地域課題解決推進事業【4,248千円】 (1) 多様な主体が連携した地域課題解決の取組を推進（通年） ・公園の魅力向上を目的とした取組み（6年度～） NPO法人ハマのトウダイと連携協定を締結し、地域と一緒に公園を活用した魅力づくりを、中尾町かがやき公園で実証実験を継続 ・郊外部における働く場の創出に関する実証実験（5～9年度） 左近山団地の「トリオ左近山」にて、UR都市機構・（株）Goldilocksと地域のつながりづくりにも資する働く場として実証実験を継続 (2) 地域における多様な活動を「旭区SDGs月間」としてPR（8月～10月） (3) 旭区SDGs特設サイトのリニューアルを実施（通年） (4) 区民意識調査（調査期間：6月中旬～7月中旬、結果公表（3月）） ・区民の意識・ニーズを把握し、区政運営や施策立案に反映するため、区民意識調査を実施 5 【拡】 地域データ活用支援事業【1,348千円】 (1) <u>企業や施設など多様な主体の地域参画と新たな地域活動の創出を目指し、市が保有するデータを活用しやすい形で作成・公開</u> ・<u>地区の統計データや地域資源、地図情報等のオープンデータ化</u> 将来人口推計等の掲載（通年）、<u>ホームページのリニューアル</u>（10月） ・普及啓発の実施 支援チーム向け研修（10月）、広報よこはま区版掲載（2月） ・地区別データの更新・作成（通年）	
令和7年度	6,924千円		
増△減	2,892千円		
地域振興課、区政推進課、福祉保健課			
 地域の担い手養成講座の様子			
 公園の魅力向上を目的とした取組みの様子			
事業指標		区民ライターによる記事投稿件数	地域活動継続団体（あさひのつながり応援補助金助成団体）
		20件	40件

Ⅱ-2		事業内容	
自治会町内会等の地域活動支援事業		行政と地域住民を結ぶ基礎的な自主的任意組織である自治会町内会と行政との円滑な連携の構築を図り、自治会町内会活動を区民に対しPRし、活動の活性化や自治会町内会への加入促進を図ります。	
令和8年度	4,383千円	1 地域活動のつどい【225千円】 (1) 旭区独自の制度として自治会町内会役員（5年以上・会長除く）を対象に功労者を決定し、受賞者に感謝状と記念品を贈呈（1月） 2 自治会町内会長感謝会【1,100千円】 (1) 自治会町内会長（5年以上）を対象に永年在職者を表彰 (2) 10年以上の会長は、市長表彰（3月開催予定） 3 自治会への依頼物品配送費【1,408千円】 (1) 毎月開催される区連会で承認を受けた会議資料等を各自治会町内会に配送 4 加入促進のPR【750千円】 (1) 区連会ホームページにおける自治会町内会の取組紹介及び定例会配布資料・各種補助申請書類の掲載等 (2) 加入促進リーフレット「入ってよかった！自治会・町内会」の転入者向けに配布を通じた自治会町内会の取組紹介 (3) SNS・地域紙等の様々な媒体への広告の掲載等による、自治会町内会未加入者の多い働き・子育て世代にも届くような加入案内PR（広報よこはま旭区版特集記事掲載5月、SNS 広告配信2～3月） 5 DX 地域活動におけるICT活用支援【900千円】 (1) 出張講習会、アドバイザー派遣、活用事例の紹介やICT活用に向けた設備等への支援を通じ、自治会町内会の情報共有や運営の効率化を図る（6月～2月） <地域活動推進事業・LED防犯灯設置維持管理事業（市民局）> 自治会町内会の活動を支援するため補助金及び報償費の交付 <自治会町内会館整備補助事業（市民局）> 自治会町内会館整備のための補助制度 <自治会町内会館脱炭素化推進事業（市民局）>※実施未定 自治会町内会館への省エネ効果の高い設備導入費用の補助	
令和7年度	4,586千円		
増△減	△203千円		
地域振興課			
 自治会町内会長感謝会  アドバイザー派遣の様子			
事業指標		受賞者数（つどい及び感謝会）	自治会町内会加入率
		60人	80%

Ⅱ-3		事業内容	
旭ふれあい区民まつり		旭ふれあい区民まつりの開催を通じ、地域の多様な活動の照会、区民相互の交流、旭区の魅力の発信を行うことにより、地域の連帯感を深め、ふるさと意識の高揚を図ります。	
令和8年度	3,300千円		
令和7年度	3,300千円		
増△減	0千円		
地域振興課		1 旭ふれあい区民まつり【3,300千円】 旭ふれあい区民まつり実行委員会への補助金交付による活動支援 【開催概要】 ・令和8年10月18日（日）開催予定 ・場所：旭区役所、旭公会堂、鶴ヶ峰商店街協同組合駐車場、 鎧の渡し緑道、旭区市民活動支援センター「みなくる」等 ・内容：ステージイベント、健康フェア、子ども向け体験コーナー、 区内農産物販売、情報・体験コーナー、ミニ商店街、 スタンプラリー、ワークショップ、GREEN×EXPO 2027PR 等	
 旭ふれあい区民まつり		来場者数	来場者満足度
		40,000人	96%

Ⅱ-4		事業内容	
区民スポーツ事業		スポーツを通じて、区民の体力向上・健康維持、青少年の健全育成及び地域の連携を促すとともに、人や地域のつながりを密接にし、地域の活性化を図ります。	
令和8年度	3,028千円		
令和7年度	3,026千円		
増△減	2千円		
地域振興課		1 旭区民スポーツ祭事業【2,275千円】 (1) 旭区民スポーツ祭実行委員会に事業補助金を交付 (2) 連合地区対抗の旭区独自の総合スポーツ競技大会 6月～11月の期間に区内各地で区内の小学生から高齢者までを対象に幅広い世代が参加できる全7種目を実施予定 2 スポーツ協会事業【400千円】 (1) 旭区スポーツ協会（13部により構成）に補助金を交付し、活動を支援 (2) 各種競技大会の企画・運営・実施（通年） 3 旭区大なわとび大会事業【353千円】 (1) 旭区大なわとび大会実行委員会への補助金交付による活動支援 (2) 各地区で予選を行い、本大会を旭スポーツセンターにて開催（2月7日）	
 旭区民スポーツ祭 総合優勝地区		各種スポーツ大会参加者数	週に1回以上スポーツを行っている区民の割合
		4,400人	70%

Ⅱ-5		事業内容	
文化芸術による心の豊かさ推進事業		区民の文化芸術を支援することで、心豊かな生活の充実と地域の繋がりがづくりを推進します。また、「第三次旭区読書活動推進目標」に基づき、地域の読書活動を推進します。	
令和8年度	6,635千円	1文化芸術活動支援事業【3,745千円】 旭区内で開催される区民の自主的な文化芸術活動を支援（補助金交付・広報協力など） (1) 旭区文化芸術活動支援事業 令和8年度は子ども・環境関連の事業を特別支援事業に設定 ・補助金交付決定（4月1日） ・事業実施（通年） ・次年度事業公募・審査（1月～3月） (2) 旭区文化振興会の運営 ・文化活動団体同士の交流促進に係る検討 ・ろびーぎゃらりー（区役所1階展示スペース）の利用（通年） 2横浜旭ジャズまつり支援事業【2,000千円】 旭区制20周年を記念し1990年に始まった野外音楽イベント。今年は35回目。区の共催事業として、横浜旭ジャズまつり実行委員会の活動を支援（補助金交付、広報協力など） ・アマチュアステージ公開オーディション（5月31日、旭公会堂） ・‘26横浜旭ジャズまつり（8月30日、こども自然公園） 3読書活動推進事業【890千円】 「第三次旭区読書活動推進目標」（計画期間：令和7年度～令和11年度）の3つの目標に基づく地域の読書活動推進とともに、「旭区本と出会える場所マップ」の活用により、身近な地域で本と触れ合う機会を創出 【目標と主な取組み】 〈目標1 ドキドキ読書活動 未来を担う子どもたちの読書活動の推進〉 ・図書館や市立保育所による家庭への絵本貸出サービスの充実 ・中高生世代向けPOPを作成する講座（7月31日） 〈目標2 わくわく読書活動 市民の読書活動の環境と機会の充実〉 ・読書の楽しさを知る講演会の開催（8年度後半） ・読み聞かせボランティアの交流会の開催 ・区内読書施設の連絡会の開催（年1回） 〈目標3 いきいき読書活動 読書バリアフリーの推進〉 ・区内読書関連施設への「りんごの棚」の設置と充実（2～4か所） ・バリアフリー図書を使ったおはなし会や図書館見学の開催	
令和7年度	6,351千円		
増△減	284千円		
地域振興課			
 ‘25 横浜旭ジャズまつり			
 夏休みPOPづくり 大作戦！			
 POP展示風景（区内書店）			
事業指標	文化関連事業参加者数	文化支援事業参加者満足度	
	20,000人	95%	

Ⅱ-6		事業内容	
青少年健全育成事業		青少年の興味・関心を広げるため、様々なことを学び、体験する講座を実施します。また、青少年団体が行う青少年健全育成を目的とした事業に対し、補助金を交付し活動を支援します。 1 こども未来発見事業【417 千円】 地域におけるこどもの体験機会の創出のため、こどもの発達段階や興味関心に応じた科学講座やワークショップを実施 (1) 小学生向け科学講座「あさひわくわく科学ラボ」(8月、旭区市民活動支援センター「みなくる」) 旭区市民活動支援センター「みなくる」の登録アドバイザーによる、親子で楽しめる工作等の体験講座 (2) 中学生向けワークショップ 横浜グリーンエキスポの開催テーマに関連した体験講座 2 青少年団体活動補助事業【171 千円】 区内青少年団体が行う健全育成を図ることを目的とした事業を支援(補助金交付、広報協力) (1) 旭区子ども会育成連絡協議(3事業) (2) 旭区ボーイスカウト・ガールスカウト連絡会(1事業)	
令和8年度	588 千円		
令和7年度	590 千円		
増△減	△2 千円		
地域振興課			
 あさひわくわく科学ラボ			
 中学生向け 絵画制作ワークショップ			
 絵画制作パネル展示 (二俣川駅)			
事業指標		こども未来発見事業参加者数	こども未来発見事業参加者満足度
		60 人	100%

Ⅱ-7		事業内容
子育て・若者支援事業		養育者が子育てに不安を感じやすい、妊娠期から乳幼児期を対象に切れ目のない支援を提供します。また、子どもの特性に応じた支援を通じて、養育者の不安を軽減するとともに、子育てにおける孤立を防ぎ、子育て世代や若者が安心して住み続けられる地域の実現を目指します。 そのために、妊娠期には父親と母親が共通して妊娠・出産・子育てに関する理解を深める機会を設け、出産後は乳幼児健診等を通じて乳幼児期における適切な情報提供を行います。 また、障害のある子どもの養育者同士の交流、子育て世代を地域で支えるネットワークづくりや困難を抱える若者の社会参加支援に取り組みます。 1 ☐ 拡 妊娠期支援事業【570 千円】 父親と母親が共通して妊娠から育児までの知識を学び、意識を高めることで、妊婦とその家族が安心して出産・養育できる環境づくり (1) 「妊娠・出産マイカレンダー」を妊娠届の面接時に配布（母親向け・父親向け 1,500 部） (2) 両親教室について、全市的に実施されている平日分に加え、4回を土曜日に開催。土曜日の受入れ組数を拡大（年4回、計 72 組：5月 1回開催） <両親教室（こども青少年局）> 妊娠期の生活、子育てに必要な知識や技術の習得及び地域の仲間づくりを促進するための支援を実施（平日開催） 2 乳幼児期支援事業【4,003 千円】 乳幼児期における子どもとの関わり方等について情報提供と支援 (1) 乳幼児健診の待ち時間に栄養・歯科・育児講座を実施（年 72 回：4月～5月 11 回実施） (2) 第 1 子の 0 歳児を養育する方を主な対象に、赤ちゃん教室を実施（年 112 回：5月 14 回実施） 3 発達障害児等支援事業【552 千円】 発達障害等を抱える子どもを持つ養育者同士の交流の場や支援を行う事業所の紹介を行うことで、子どもとの関わり方に悩む養育者を支える環境づくり (1) 発達障害児や先天性疾患の子どもを持つ養育者と支援者を対象に、「ふくっこの会」に対する支援を実施（年 4～5 回：5月 1 回実施） (2) 区内の障害児通所支援事業所案内「あさひっ子」を更新・ホームページへ掲載しデジタル配信。区役所窓口においてタブレット端末を活用した案内を実施
令和 8 年度	5,584 千円	
令和 7 年度	5,084 千円	
増△減	500 千円	
こども家庭支援課		
 両親教室  障害児通所支援事業所案内情報「あさひっ子」		

 西部ユースプラザと連携した 区民まつりブースの様子	4 子育てネットワーク構築事業【280 千円】 子育て世帯が安心して子育てができるまちづくりを目指して、区民、子育て支援関係機関・団体、行政との協働により子育て支援のネットワークを構築し、地域の子育て情報を発信 (1) 区民と関係機関・行政との協働により、安心して子育てができるまちづくりを目指し、「子育て支援連絡会」を実施（年3回） (2) 窓口でタブレットを利用し、子育て情報等を案内 ＜地域子育て支援拠点事業（こども青少年局）＞ 就学前の子どもとその保護者が気軽に訪問でき、交流するスペースの提供、子育て相談の実施、子育て情報の提供、子育て関係機関のネットワーク構築などを行う地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ／ひなたぼっこサテライト」の運営を委託 5 困難を抱える若者支援事業【179 千円】 ひきこもり等の若者が将来的な社会参加や就労につながるための支援 (1) 区役所各課で開催する講演会等を社会体験機会として提供（4月1回） (2) ひきこもり等への理解促進のため、区役所と関係機関が連携して区民まつりに出展 ＜地域ユースプラザ事業（こども青少年局）＞ ・地域における総合相談、ひきこもりからの回復期にある若者の居場所の運営等の事業経費に関する補助金を交付 ・区役所にて毎月2回、ひきこもりや不登校などを抱える若者のための専門相談を実施	
事業指標	赤ちゃん教室開催回数	子育ての不安の解消につながった と回答した養育者の割合 (対象：3歳児健診来所保護者)
	112 回	90%

Ⅱ-8		事業内容	
保育所地域子育て支援事業		地域の子育て支援を担う市立保育所を中心とした支援ネットワークの強化を図るとともに、子育て支援の場としての利用促進を図ります。 そのために私立保育所等と連携し、親子で楽しめる「あさひ子育てマルシェ」を開催します。さらに市立保育所では、絵本の貸出しを通じて未就園児の親子が気軽に訪れ、相談できる場を提供します。 これらの取組により、施設間の横のつながりを強化して保育の質の向上を図るとともに、子育て世代の孤立防止を目指します。	
令和8年度	1,772 千円	1 あさひ子育てマルシェ事業【827 千円】 (1) <u>区内の保育所・認定こども園や地域子育て支援拠点等が連携し、保育士による親子で楽しめる遊びや育児相談、施設紹介を行うイベント「あさひ子育てマルシェ」をエリアごとに実施</u> <u>9月8日：希望が丘地区センター</u> <u>9月18日：旭公会堂</u> <u>9月30日：サンハート</u> <u>10月8日：白根地区センター</u>	
令和7年度	2,728 千円		
増△減	△956 千円		
こども家庭支援課		2 市立保育所育児支援事業【945 千円】 市立保育所が未就園児家庭にとって開かれた子育て支援の場であり、子育て資源としての利用促進と地域における子育て環境の充実を図る取組 (1) 親子で絵本に触れることで乳幼児の感性の育ちを促すなど、家庭での読み聞かせの大切さや楽しさを伝えるため、月齢ごとに保育士がおすすめする絵本セットの貸出を新たに開始（通年） (2) 保育所の給食を有料で提供するランチ交流を実施（各園年4回） (3) 地域の方が保育所でボランティア活動を行い、園児の遊びや活動を支援するとともに、園児が地域で育つ意識を育む（通年）	
 あさひ子育てマルシェ (あさひくんとア・ソ・ボ)		＜保育資源ネットワーク構築事業（こども青少年局）＞ 保育資源間での保育や子育てに関する情報・ノウハウの共有化、保育の質の向上を目指した情報交換会や研究会等を開催	
 あさひ子育てマルシェ 園児作品		＜横浜市認定こども園及び保育所地域子育て支援事業（こども青少年局）＞ 保育所が持つ知識や技術を活用し、保護者の抱える子育ての不安や悩みの解消及び地域の育児力の向上を図るために、育児相談や育児講座、交流保育、施設の地域開放、子育てに関する情報提供を実施する	
 保育園の絵本コーナー			
事業指標		あさひ子育てマルシェの開催数	あさひ子育てマルシェ 参加者の満足度
		4 回	80%

Ⅱ-9		事業内容	
地域福祉保健計画事業		「地域で支えあい安心して自分らしく暮らせるまち旭区」を目指し、区民・関係機関・行政等が協働して「きらっとあさひプラン（旭区地域福祉保健計画）」第5期計画（令和8～12年度）の推進に取り組めます。 1 地域福祉保健計画推進・普及啓発事業【1,746千円】 (1) 第5期区計画の推進・普及啓発及び地区別計画の推進支援（通年） (2) 第5期計画地区別計画リーフレットの配布等による周知（4月） (3) 地域の福祉保健活動紹介と区民の参加促進（広報よこはま掲載ほか） (4) 地区別計画支援のため、地区別支援チーム向け各種研修を実施（4・5月） (5) 地域活動者を対象とした研修の開催（12月） 2 地域福祉保健推進会議【261千円】 (1) 旭区の保健・医療・福祉等の関係団体等との連携強化及び第5期計画の推進（年1回）	
令和8年度	2,007千円		
令和7年度	7,478千円		
増△減	△5,471千円		
福祉保健課		第5期計画冊子 <地域福祉保健計画推進事業（健康福祉局）> 第5期横浜市地域福祉保健計画（計画期間：令和6～10年度）の推進 第5期区計画（計画期間：令和8～12年度）の推進支援	
事業指標		旭区地域福祉保健計画（きらっとあさひプラン）認知度	区内地域ケアプラザ及び福祉保健活動拠点における福祉保健活動目的の利用者数
		22%	67,500人

Ⅱ-10		事業内容	
地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業		区内小学5・6年生が民生委員や主任児童委員とともに各種福祉活動に取り組む旭区独自のジュニアボランティア体験事業などへの支援や、民生委員活動・制度の普及啓発を行い、地域のつながりづくりを推進します。	
令和8年度	3,386千円	1 民生委員活動支援事業【1,306千円】 (1) 旭区民生委員児童委員協議会への活動支援 (2) <u>主任児童委員連絡会主催による、乳幼児の保護者向けの子育て支援活動として「あさひ・ゆかいなコンサート」を実施（5月8日・参加者約200名）</u> (3) 民生委員制度普及啓発 ・民生委員のなり手確保・認知度向上のための広報啓発物の作成・配布 ・「民生委員・児童委員の日」（5月12日）におけるパネル展を実施 ・区民まつりへ参加し啓発物等を配布（10月） 2 ジュニアボランティア体験事業～民生委員とともに～ 【2,080千円】 (1) 就任式の開催（8月1日） (2) 各地区での活動（8～11月） 活動内容例：街頭募金活動、高齢者施設訪問、地域清掃への参加、車いす体験、子育て支援体験など (3) 体験発表会の開催（12月6日） (4) 体験感想文集の発行（3月） <民生委員・児童委員事業（健康福祉局）> 地域福祉の担い手である民生委員・児童委員、主任児童委員の委嘱及び活動支援	
令和7年度	3,638千円		
増△減	△252千円		
福祉保健課			
 あさひ・ゆかいなコンサート  ジュニアボランティア（街頭募金活動）			
事業指標		来場者・参加者数（パネル展、区民まつり、ジュニアボランティア就任数）	民生委員充足率
		1,350人	100%

Ⅱ-11		事業内容	
健康生活支援事業		区民の健康維持増進と健康寿命延伸を目標に、運動・栄養・歯科など生活習慣病の予防への取組を推進します。特に 20～40 代の働き・子育て世代の健康づくりを推進し、50 年後も健康でいられる区民を一人でも多く増やします。 1 ウォーキング推進事業【1,629 千円】 (1) よこはまウォーキングポイントアプリ登録の推進（通年） (2) 「あさひさんさんウォーク 2026」をあさひの逸品と連携し開催 ・協賛企業等との調整、協力依頼（4～6 月） ・ウォーキングスポット選定（5 月） ・周知（8 月～）、実施（10～11 月） (3) 健康プレート設置公園の環境整備（通年） 2 働き・子育て世代の健康応援事業【684 千円】 (1) 働き子育て世代向けに「あさひまちなか健康チェック」実施（通年） ・子育て支援拠点 ・区内商業施設 ・子育て世代向けイベント (2) 地域、関係機関、民間企業での出前健康講座実施（通年） 3 虫歯予防啓発事業【225 千円】 (1) 旭区歯科医師会と連携し就学前の子どもと保護者向けイベントを実施 (2) ホームページを活用した情報発信（通年） 4 おにぎりあさひくんの人形劇、食育啓発事業【397 千円】 (1) おにぎりあさひくん人形劇の実施（6～3 月） (2) デジタル絵本・動画活用の推奨（通年） (3) ランチョンマットを活用した食育啓発を実施（通年） <第 3 期健康横浜 2 1（健康福祉局）> 「第 3 期健康横浜 2 1」の推進における重点取組である「よこはま健康アクション〔R6-R11〕」の推進	
令和 8 年度	2,935 千円		
令和 7 年度	2,604 千円		
増△減	331 千円		
福祉保健課			
 あさひまちなか健康チェック （子育てマルシェ）  あさひさんさんウォーク 2025 （若葉台公園）			
事業指標		健康増進に係る啓発活動の実施	20～60 歳以上で 1 日 30 分・週 2 日以上の運動を 1 年間継続している者の割合
		101 回	29%

Ⅱ-12		事業内容	
認知症をみんなでささえるまちづくり事業		認知症になっても家族や本人が地域で安心して暮らせるよう、認知症に対する正しい知識・理解の普及を促進し、関係機関と連携し高齢者の孤立防止、見守りなど地域支援を進めます。	
令和8年度	1,114千円	1 〔拡〕 啓発活動の展開【1,114千円】 (1) 旭区版（新）認知症ケアパスガイド（仮称）作成（9月ごろ） 認知症当事者の方が「どのように世界が見えているのか」を知ることで、認知症の方との共生や、認知症かどうかにかかわらず支え合える暮らしを考えられるように「認知症世界の歩き方」版のケアパスガイドを作成（2,000部） ・講演会や認知症サポーター養成講座等で配布 ・完成版をホームページでも公開予定 (2) 認知症講演会（9～11月ごろ） ・認知症に関する知識だけでなく、認知症当事者の声を知っていただく区民向けの講演会を開催 ・認知症当事者の話、医師の講演、（新）ケアパスガイドの紹介等を実施 (3) 認知症サポーター養成講座開催支援（9月以降） ・（新）ケアパスガイドを用いた認知症サポーター養成講座をケアプラザが開催できるように講師を派遣（ケアパスガイド完成以降4回） ・区とケアプラザの連絡会を開催 (4) 認知症協賛店との協力 自宅に戻れなくなっている認知症当事者と思われる方を一時的に保護し警察通報するなど、見守っていただく店舗について「協賛店」登録し、ステッカーを交付（通年） ・協賛店数：554か所（8年3月末） (5) 認知症カフェ等の周知 介護者同士が交流したり、認知症当事者や家族の方が集って情報共有等を行うことができる「介護者のつどい」と「認知症カフェ」の情報を、ホームページ上で周知（通年）（随時更新） ・介護者のつどい：6か所、認知症カフェ：10か所（8年2月末）	
令和7年度	454千円		
増△減	660千円		
高齢・障害支援課		認知症講演会の様子 認知症協賛店ステッカー ＜認知症高齢者等 SOS ネットワークシステム事業（健康福祉局）＞ 登録者（認知症高齢者等）の行方が分からなくなった際に、区内全体で見守り、保護するための仕組み。登録情報をもとに区役所・地域ケアプラザから発見協力機関（バス・鉄道・タクシー事業者等）に、日常業務の中での発見協力を依頼できる。【登録者】215名（8年3月末）【発見協力機関】36か所 ＜チームオレンジ事業（健康福祉局）＞ ① 認知症の人と家族の希望・困りごとを把握し、継続して支援できる ② 認知症の本人や家族も地域の一員として活躍している ③ 認知症のひとが住みよいまちづくりに向けた活動に取り組んでいる 上記①～③すべてを満たす活動で、認知症の方が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指した事業（7年度より全地域ケアプラザで展開） ＜認知症サポーターキャラバン事業（健康福祉局）＞ 地域で認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で「応援」する人材である認知症サポーターを養成。区は認知症サポーター養成講座の開催を支援	
事業指標		チームオレンジ活動件数 （全包括圏域合計）	認知症当事者参加型チームオレンジの活動箇所
		195回	13箇所

Ⅱ-13		事業内容	
高齢者生きがいづくり支援事業		高齢者が住み慣れた地域で、健康で生きがいを見出した活動ができるよう、市内最大規模を誇る旭区老人クラブ連合会（通称：かがやきクラブ旭）への支援を行います。 1 老人クラブ支援事業【418千円】《共催事業（年11回）》 (1) 各種スポーツ大会・講演会等の共催事業の実施 ・健康を進める運動講演会（6月） ・輪投げ大会（6月） ・横浜シニア大学（6～7月） ・友愛活動員委嘱式（7月） ・ボッチャ大会（9月） ・趣味の作品展（11月） ・知識と教養を高める研修会（12月） ・ことぶき大学（2月） ・いきいき活動慰安大会（3月） (2) <u>かがやきクラブ旭の会員数増の取組を推進</u> ・<u>eスポーツ体験会の共催実施（8月、2月）</u> ・広域老人クラブの広報支援	
令和8年度	418千円		
令和7年度	568千円		
増△減	△150千円		
高齢・障害支援課			
 e スポーツ体験会の様子			
		＜地域づくり型介護予防事業（健康福祉局）＞ 元気づくりステーション：身近な地域で、住民が主体となり仲間と一緒に介護予防・健康づくりに取り組むグループ活動。包括支援センターとともに運営支援等を実施。区内25か所	
事業指標	共催事業回数		参加者満足度アンケート
	10回		90%

Ⅱ-14		事業内容	
障害理解推進・社会参加促進事業		旭区の人口は18区中6番目ですが、障害者手帳所持者数が身体障害4位、知的障害3位、精神障害5位と多く、精神科病院と障害者支援施設（入所施設）はともに市内で一番多く立地しています。	
令和8年度	710千円	区域の障害者支援団体と障害当事者による障害理解啓発活動が、以前から地道に続いていることも区の特徴のひとつです。	
令和7年度	667千円	区として、自立支援協議会等と連携してこうした啓発活動を支援し、障害理解を広めるとともに、相談支援ネットワークを推進し、障害のある方が安心して暮らせる地域づくりを推進します。	
増△減	43千円		
高齢・障害支援課			
		1 障害理解推進・社会参加促進事業【710千円】	
相鉄沿線駅前マルシェ （二俣川駅の様子）		(1) 精神保健福祉セミナー（年1回）の開催支援 精神障害当事者が企画段階から参画し、区民等の精神保健への理解啓発を目的としたセミナーの開催を支援	
		(2) あっぱれフェスタ（12月5日開催）の開催支援 旭区地域自立支援協議会等、区内関係団体主催による障害理解啓発イベントの開催支援	
あっぱれフェスタ		(3) 相鉄沿線駅前マルシェの開催支援（10月19日～23日開催予定） 沿線4区（旭・瀬谷・保土ヶ谷・泉）の自立支援協議会主催（相模鉄道株式会社協力）による駅頭での自主製品等販売会の開催支援	
		(4) 旭区ふれあいスポーツ大会（年2回/ボッチャ6月29日、卓球10月26日）の開催支援 区内の精神保健福祉支援関係団体が、スポーツをとおして相互理解を深め、当事者の社会復帰促進を図る目的で開催する大会を支援	
		(5) 精神科医による精神保健福祉相談 （ひかりが丘地域ケアプラザ、年6回） 精神障害者、精神保健に関する支援を必要としている地域住民、及びその支援者を対象に専門医による精神保健相談を実施	
		(6) 障害福祉事業所出張健康教室の開催（年5回） 横浜市歯科口腔保健推進計画に基づく「障害特性に応じた歯科口腔保健の正しい知識の普及啓発」に取組み、障害者の地域での暮らしを支援	
		<障害者相談支援事業（健康福祉局）> 障害児者やその家族が地域で自立した生活を送ることができる社会の実現を目指し、基幹相談支援センターや区福祉保健センターが中心となり、障害者福祉施設や関係機関と連携を図りながら相談支援を実施。	
事業指標		精神保健福祉セミナー参加者数	精神保健福祉セミナー参加者満足度
		250人	90%

Ⅲ GREEN×EXPO 2027 を契機とした魅力あるまちづくり

Ⅲ-1		事業内容
あさひ魅力発見事業		マスコットキャラクター「あさひくん」を介した旭区の事業啓発や、文化・観光スポット、あさひくんを活用した商品を広げます。また、「あさひの逸品」を活用した商業振興など、旭区の魅力を発見・発信し、旭区への愛着と、住み続けたいまちの実現を目指します。
令和8年度	3,655 千円	
令和7年度	3,471 千円	
増△減	184 千円	
地域振興課		
 あさひくん 4コマ漫画  あさひくんフォトフレーム（うま年）		1 あさひくん普及啓発事業【2,084 千円】 区の魅力発信や事業啓発のためのイラスト、啓発グッズの活用 - 広報よこはまあさひ区版「あさひくん4コマ漫画」（年5回程度） - デジタルコンテンツ - あさひくんフォトフレーム（AR） - アニメ「あさひくんのさがしもの」 - アニメ「はやね・はやおき・あさごはん」 - オリジナル体操「あさひくんとア・ソ・ボ！」【再掲】 - 啓発グッズ 「あさひくんランドセルカバー」（新入学児童対象）【再掲】 2 あさひくん貸出事業【377 千円】 あさひくんを通じた区の広報啓発の取組 - 着ぐるみの貸出 - あさひくん図形使用申請 「あさひくん」LINE スタンプ販売（旭区観光協会） 3 商業振興事業（あさひの逸品）【1,023 千円】 「あさひの逸品」キャンペーンの開催（10月～11月） ウォーキング推進事業「あさひさんさんウォーク」（福祉保健課）と連携して実施 「あさひの逸品」新規募集・認定（10月～） ＜商店街活性化イベント助成事業（経済局）＞ 商店街が実施する地域内の交流や賑わいを創出するイベント支援 4 あさひ文化観光資源発信事業【171 千円】 - 畠山重忠公紹介冊子配布（通年） - 旭ガイドボランティアの会共催ウォーキングイベント「あさひ散歩」の広報支援（4月～3月：1回/月） - 標柱・案内サインの管理（通年）
事業指標		あさひくん貸出・図形申請件数
		あさひくん認知度
		130 件
		95%

Ⅲ-2		事業内容
GREEN×EXPO 2027 参加促進事業		GREEN×EXPO 2027 の開催に向け、横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会による広報活動等による参加促進、EXPO の開催意義である生物多様性や脱炭素化に係る取組の普及啓発を推進します。また、自治会町内会等への花苗配布、花と緑のあふれる保育所づくり等による緑化推進や区内農業の周知による地産地消の推進を通じ、魅力あるまちづくりにつなげます。
令和8年度	9,685 千円	
令和7年度	9,583 千円	
増△減	102 千円	
区政推進課、地域振興課 こども家庭支援課		1 拡 GREEN×EXPO 2027 参加促進【2,650 千円】
		(1) 街中での GREEN×EXPO 2027 PR 装飾
		・トウシキトウシキモニュメントの展示（展示場所：神奈川県警察運転免許センター）
		・花のオブジェの展示（展示場所：神奈川県警察運転免許センター、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院ほか）
		・横断幕の設置（新規設置：保土ヶ谷バイパス等、他 36 か所設置済）
		・お掃除アート
		・区庁舎装飾
		(2) 市民参加型イベントの実施
		・2026 旭オープンガーデン
		【会場募集時期】7 年 9 月 1 日～11 月 30 日
		【開催時期】8 年 4 月 3 日～5 月 10 日
		【会場】101 か所（昨年度：50 か所）
		【4 区（旭区、瀬谷区、港北区、栄区）連携の取組】
		市庁舎展示、市庁舎低層部及び各区施設デジタルサイネージへの掲出、よこはまウォーキングポイントスタンプラリーの実施
		・民間保育所等への花苗配布（5～6 月、計 22 か所）
		・応援プログラム（広報物品の提供・貸与等、区民や団体と協力した PR）
		(3) GREEN×EXPO 2027 開催前記念イベント
		・開催 100 日前記念イベントの実施
		(4) 区内大型イベントでの親子参加型ワークショップ出展
		・里山ガーデンフェスタ（春：4 月 25 日・秋）
		・Yokohama Nature Week 2026（5 月 16・17 日）
		・横浜 FC あさひ区民 DAY
		・旭ふれあい区民まつり
		＜GREEN×EXPO 広報・推進活動事業（脱炭素・GREEN×EXPO 推進局）＞
		GREEN×EXPO 2027 の開催に向け、国や GREEN×EXPO 協会等と連携して開催に向けた取組を実施
		＜緑や花があふれる地域づくり事業（みどり環境局）＞
		オープンガーデン等イベントの開催・花や緑を育む活動の支援などの地域に根差した各区での取組を進め、緑や花の楽しみづくりを推進



GREEN×EXPO2027
PR 看板



あさひもぐもぐマルシェ



花壇整備
(今宿保育園)

2 脱炭素化推進に向けた普及啓発事業【1,025 千円】

- (1) 「楽しくお家でエコ！実践講座」を開催（計 6 回）
- (2) 民間保育園等へ緑のカーテン用資材を配布（5 月、計 19 か所）
- (3) 区内小・中学校向けの YES 環境教育出前講座を通じた行動変容促進

＜緑や花があふれる地域づくり（みどり環境局）＞

区役所や図書館など多くの市民が訪れる公共施設において、市民が実感できる緑を創出・育成するための事業を実施

＜子どもを育む空間での緑の創出・育成事業（みどり環境局）＞

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多く時間を過ごす、保育園、小中学校を対象に多様な緑の創出・育成を実施

3 環境学習【637 千円】

- (1) ふるさとの川環境学習【547 千円】
区内小学校（5 校）を対象に、帷子川などをフィールドとした環境学習を地域の NPO・企業と協働で実施（5～10 月）
- (2) ホタルの舞う里づくり【90 千円】
若葉台、旭北地区で専門家の指導のもと、ホタルの生育指導、鑑賞会、幼虫の放流会等を実施（専門家の派遣 4 回）

4 花いっぱい事業【3,755 千円】

- (1) 自治会町内会等、植栽に意欲のある団体への花苗配布（6 月 7 日、11 月）
- (2) 花苗配布に合わせた GREEN×EXPO 2027 PR グッズの配布など、機運醸成に向けた取組実施
- (3) 区役所・空閑地等の緑化推進（花の植替え）（5 月 16 日、11 月）

5 旭区の「農」の魅力 PR 事業【618 千円】

地元生産者・販売者・JA 横浜と連携した地産地消の取組を通じて、旭区の魅力を発信

- (1) 「あさひもぐもぐマルシェ」を区役所で実施（月 1 回）
- (2) 「あさひ直売所&地産地消マップ」による広報啓発（通年）
- (3) 「あさひ直売所&地産地消マップ」を活用したイベントの開催

6 地域と育てる花と緑のあふれる保育所づくり事業【1,000 千円】

- (1) 市立保育所にて、園児や地域のボランティアと協力して季節ごとに花植えを実施し、その様子を SNS 等により発信（通年）
※市立保育所 4 園が旭オープンガーデンへ参加

事業指標	GREEN×EXPO2027 認知度向上に向けた取組	GREEN×EXPO2027 の認知度
	30 件	100%

Ⅲ-3		事業内容	
旭区広報事業		区民に向けて区・市等の各種事業を広報することで、区政に対する理解、協力を広げ、その円滑な推進を図ります。 そのために、「職員一人ひとりが広報マインドを醸成し、適切な手段で発信できる」、「チームあさひとして区の取組・イベントをPRできる」ことを目指し、「旭区役所の広報力の強化」に取り組みます。 1 Web 広報事業【821 千円】 (1) 「広報よこはま あさひ区版」WEB 版、旭区役所ホームページ、SNS（X・LINE）等を活用し、市・区等の行政情報を発信（通年） (2) 職員向け研修を実施することで、一人ひとりが伝える担い手としての意識を醸成し、相手にわかりやすく伝える広報力の強化を推進（年3回） 2 旭区区民生活・防災マップ発行事業【2,574 千円】 (1) 主に転入区民向けに旭区での新生活に活用してもらうため、「旭区区民生活・防災マップ」を2年分26,600部作成（隔年発行）	
令和8年度	3,395 千円		
令和7年度	3,357 千円		
増△減	38 千円		
区政推進課			
			
旭区区民生活・防災マップ			
事業指標	SNS 年間投稿数		SNS 年間アクセス数
	365 件		50 万件

Ⅳ 区民サービスの向上

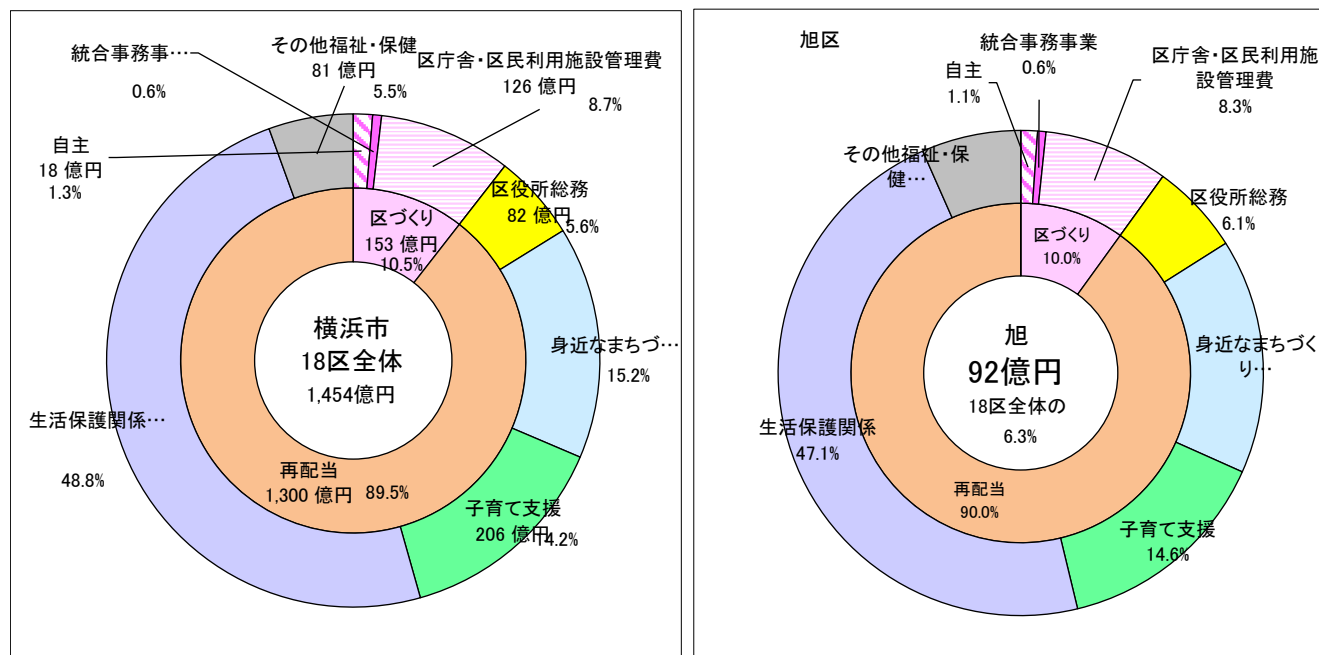
Ⅳ- 1		事業内容	
区役所満足度向上事業		正確・迅速・丁寧で親しみやすいサービスの提供に向け、各事業に取り組めます。 1 拡 区民ニーズ迅速対応事業【7,014 千円】 (1) 来庁者の利便性向上や執務環境改善等の区庁舎環境整備（通年） ・椅子更新、防犯カメラの設置、その他庁舎環境の改善 2 CS 向上事業【523 千円】 職員の接遇力・行政対象暴力への対応力の向上を目的とした、応対マナー等研修、人権啓発研修及び認知症・自殺対策・生活困窮などの行政課題についての感度を高めるための人材育成研修を実施 (1) 応対スキルアップ研修 ・年4回実施予定（上半期2回、下半期2回） (2) 人権啓発研修 ・通年：責任職研修、職員研修、区民向け人権啓発の取組 (3) 旭区人権啓発講演会 ・年1回実施予定（11～2月） (4) 行政課題について感度を高めるための人材育成研修 3 ES 向上事業【52 千円】 (1) あさひ改善プロジェクトの取組等を通じた職場環境の向上 4 一時託児サービス事業【156 千円】 区庁舎内託児室での一時託児サービスの実施 （乳幼児健診実施日に開室：毎月6～8回程度） 5 ICT 環境整備事業【393 千円】 (1) WEB 会議用環境・インターネット FAX 運用（通年） (2) ICT 機器の新規導入（随時） 6 新 行政対象暴力弁護士委任事業【436 千円】 各課窓口等で発生する行政対象暴力について、法律相談のほか、被害職員への対応・相談、警察・検察との調整、加害者側との調整などを弁護士に委任する事業を実施 (1) 法律相談（通年：年間5件を想定） (2) 弁護士委任（通年：年間3件を想定）	
令和8年度	8,574 千円		
令和7年度	8,138 千円		
増△減	436 千円		
総務課			
 一時託児の様子			
事業指標		応対スキルアップ研修	区民意識調査「区役所の窓口対応」で満足・やや満足の割合
		4 回	前回調査結果から向上

V 統合事業費

V-1		事業内容
統合事業費		18 区で共通している事業費
令和 8 年度	23,487 千円	1 広報よこはまあさひ区版発行事業【10,189 千円】 区民に向けて区・市等の各種事業を広報することで、区政に対する理解、協力を広げ、その円滑な推進を図ります。 2 広聴・相談事業【2,283 千円】 区民の日常生活の様々な困りごと等についての専門相談を開催します。区民の意見、要望、提案、苦情等を直接把握し、区政の運営に反映させるとともに、区政の合理的運営に役立てます。 3 クリーンタウン横浜事業【1,510 千円】 区内に 2 か所ある美化推進重点地区（鶴ヶ峰駅周辺、二俣川駅周辺）において、委託による清掃を定期的実施し、清潔できれいな街づくりを推進します。 4 緊急時情報システム運用事業【907 千円】 災害や地域に関する緊急情報を、一斉に電話で発信することにより、連合自治会長等へ効率的かつ効果的な情報の伝達を図るとともに、web サイトやメール等他の情報伝達ツールと併せて活用することで、情報伝達手段の多様化を図ります。 5 スポーツ推進委員支援費【2,278 千円】 スポーツ推進委員は、地区において、地域の人たちとの連帯と委員相互の協力のもと、地域に根ざしたスポーツやレクリエーションの振興事業の企画・立案・実施並びに普及活動など、地域の多様化に即した事業を展開しています。また、各種スポーツ・レクリエーション団体その他関係団体の事業について協力します。 6 青少年指導員事業【4,500 千円】 青少年の健全育成に向けて、青少年指導員が中心となり、関係団体や地域と連携して企画、運営し、地域に根ざした青少年健全育成活動を実施します。 7 学校・家庭・地域連携事業【1,610 千円】 次代を担う青少年を育成するため、11 中学校区に対して補助金交付し、学校・家庭・地域が相互に連携しそれぞれの教育機能を発揮することを支援します。 8 健康づくり月間【210 千円】 区内の保健・衛生・医療に関わる団体が連携し、健康づくりに関する情報提供や相談活動（健康フェア）を区民まつりに合わせて実施します。
令和 7 年度	24,231 千円	
増△減	△744 千円	

旭 区に係る予算のすがた（令和8年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は2兆993億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は1,454億円です。この区が執行している予算に焦点をあてて、各区が主に税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。



注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

旭区の予算の特徴

令和8年度一般会計予算の中で、旭区の人件費を除く区が執行している予算の規模は、約 92 億円となり、18 区全体の予算のおよそ 6.3%を占めています。これは、単純に区民1人当たり換算すると、3万8千円を支出していることとなります。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約9億2千万円となり、旭区に係る予算の約 10.0%となっております。「個性ある区づくり推進費」の中でも「区庁舎・区民利用施設管理費」の割合が高くなっています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算の再配当を受け区が執行している「再配当予算」で、旭区全体の約 90.0%に及びます。その中でも特に「生活保護」に係る予算は 44 億円となり、再配当予算の半分以上を占めています。また、保育所の運営費や放課後児童健全育成など「子育て支援」に係る経費は 13 億円で旭区全体の 14.6%を占めています。「身近なまちづくり」として約 14 億円、旭区全体の 15.2%を占めている予算は、土木事務所が執行する予算で、身近な道路・公園等の管理運営に係る経費となっております。

このように旭区の予算は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業を始め、局からの予算の再配当を受け、局に代わり区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業を担っています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	920	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	103	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	51	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	766	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	8,307	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	559	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	124	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	25	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	409	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,445	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,604 百万円
道路修繕費等	1,017	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	97	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(159)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	331	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	1,343	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	111	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	1,039	放課後キッズクラブ運営のための補助金等
地域子育て支援拠点等	193	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	4,350	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	4,324	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象見込み世帯●●世帯)
生活困窮者自立支援	26	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	611	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	194	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	29	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	388	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	9,227	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 9,385 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。)



旭区マスコットキャラクター
あさひくん

もっとつながり、育てる“あさひ”の未来
～GREEN×EXPO 2027 開催地元区として～

寄附受納について（報告）

このたび、次のとおり寄附を受納しましたので報告します。

1 寄附受納一覧について

横浜市内外の事業者から寄附を受納し、あさひエコガーデン（旭区役所屋上庭園）の整備やこども家庭支援課キッズスペースのリニューアルに活用しました。

寄附者	寄附物件	金額	受納年月日	活用先
中鉢建設株式会社 代表取締役 中鉢 悟	金員	100,000 円	令和 7 年 6 月 24 日	あさひエコ ガーデン
株式会社タイレクリエイション 代表取締役 岩本 太郎	金員	100,000 円	令和 7 年 12 月 10 日	キッズスペース
フェニックス株式会社 代表取締役 吉田 大祐	金員	100,000 円	令和 7 年 12 月 12 日	キッズスペース
学校法人都ヶ丘学園 上川井幼稚園理事長 阿部 力	金員	100,000 円	令和 7 年 12 月 23 日	キッズスペース
中鉢建設株式会社 代表取締役 中鉢 悟	金員	100,000 円	令和 8 年 1 月 19 日	あさひエコ ガーデン

計 500,000 円

2 寄附による整備状況

■あさひエコガーデン



■こども家庭支援課キッズスペース

